

玉造教会ニュース

5月号

発行：玉造教会 評議会

編集：玉造教会 広報委員会

# シャローム

〒540-0004

大阪府中央区玉造2-24-22

TEL 06-6941-2332

FAX 06-6941-2605

2017年5月7日

414号

## 共に、福音を生きる、福音を伝える

ヨゼフ・アベイヤ 神父

復活祭後の木曜日に玉造教会の司祭館に引っ越して来ました。皆さまから温かく迎えていただき、いろいろなご配慮とお心遣いに心から感謝しています。

これから、マリオ神父様とサック神父様とシスター梶野と共に、玉造教会の宣教司牧チームの一員として、皆さまと一緒に歩んで行きたいと思えます。

私は、修道者でクラレチアン宣教会のメンバーです。宣教師として日本に派遣された者です。神様からいただいた召命ですので、嬉しく受け止めて、忠実に答えていきたいと望んでいます。そのために、皆さんの祈りと支えをお願いいたします。私は、皆さまが受けたそれぞれの召命とカリスマを生きている姿を見ると、強く励まされます。このような異なった召し出しとカリスマは教会共同体を豊かにしますし、教会に与えられている使命を果たすことを可能にします。皆さんと共に歩んで行きたいと心から願います。

復活節の典礼の間に、使徒行録の朗読が多いです。その中で初代教会の歩みの特徴が伝えられています。私達にとって大事なメッセージになりますので、それらを思い起こしてみたいと思います。

### 1) 共に祈る

まず、見えて来るのは共に祈る姿です。皆が集い、共に祈りに参加し、互いに支え合っている姿はとても美しいものです。これがあったからこそ、イエスの死に強く試された弟子たちは希望を失わなかったでしょう。この弟子たちは、ちょうど共に集っていた時に聖霊の賜物を与えられ、新たな目でイエスと一緒にいた時のことを振り返り、心の中で天の父の愛の温かさを感じたのです。

### 2) キリストを記念する

二つ目の特徴は「パンを裂いた」という表現で表されています。初代教会の人々は、「これを私の記念として行いなさい」というイエスの言葉を忠実に守りました。共に集い、イエスと共に過

ぎした時に、心に響いた言葉や出来事を互いに分かち合ったでしょう。実際に、こういう分かち合いから、福音書が生まれたのです。そして、皆を生かすために与えられたイエスの命をエウカリスチアのパンを通して、つまり感謝してから祝別されたパンを通して、いただいたのです。その時から教会は二千年にわたって、この記念を行ってきました。現代、ミサと言います。御聖体はキリスト者の歩みを支えて来ました。人を生かすために与えられたイエスの命をいただく者は、すべての人のために裂かれたパンになるはずです。イエスを記念して、御聖体をいただいた者は、社会においてキリストと神の国の記念になるように呼ばれています。

### 3) 兄弟とすべての人々を心にかける

三番目の特徴は、すべてを分かち合って、物が足らなくて困った人はいなかったことです。初代教会の人々は、「私が愛したように、互いに愛し合いなさい」、また、「私がしたように、あなたたちも互いに足を洗いなさい」というイエスの言葉を心に刻みました。共同体においてはもちろんのことだったが、周りの人々の必要に応じて持っているものを分かち合いました。このように、具体的に、神の国の証しとなったのです。

### 4) 福音の喜びを伝える、天の父が望んでおられる社会を築く

最後の特徴は、現代の言葉で言えば、福音宣教です。ペトロ、パウロ、バルナバ、などの多く人々の活動が使徒行録の中で伝えられています。本当に「開かれた教会」、「出向いて行く教会」でした。彼らは人々の心の渇きに気づき、与えられた福音を宣べることによって、それに応えたのです。また、社会の中にあつた矛盾と不正に気づき、福音の力によって、社会を変えて行くパンだねになろうとしたのです。

初代教会の姿は私たちの歩みを導くはずです。素晴らしい目標を示して下さいます。こういう目標に近づけば近づくほど、喜びと希望が私たちの間に湧いてきます。これこそが私たちの目標です。この目標に向かって、皆が一つになって、歩んで行くように呼ばれています。私達宣教司牧チームとして、このあゆみを支えるように全力を尽くしたいと思います。皆さんのお祈りをお願いいたします。